樅の木会（デンソー山岳部ＯＢ会）

04月度 例会 個人 山 行 報 告 書

報告者	福井正信	参加メンバー	CL 福井正信、CL 塚本英吾、青木久、浜島弘一、白井義道、石井満、佐溝直彦、不破孝治、岩崎芳彦、渡辺勝利、渡辺育子、青柳曄代、片山嘉夫、井出敏子、井出敦夫、中山正夫
報告日	2014.4.8		

山 域	東三河	山行日	2014 年 4 月 5 日
山 名	本宮山		
山行目的	季節例会　会員の親睦		

配布先

総会参加数

山行: 1
ﾘｰﾀﾞｰ

原紙:
会事務局

コースタイム（天候：天気図記号）

4/5　晴れ
7:00 厚生年金会館 P 発
8:00 手取山公園 P 着
9:00 登山開始公園 P 発
10:15　28 丁目展望台
10:53 お清水舎
11:15 荒羽〃気神社
11:31 砥鹿神社奥宮
11:54 本宮山山頂
12:15~13:15 山頂 P 昼食
13:15　山頂 P 発
14:13　28 丁目展望台
15:07 駐車場着
16:15 本宮の湯発
17:30 ﾃﾞﾝｿｰ P 着

準備体操

荒羽〃気神社

ツツジ

昼食場所より山頂見る

〈山行報告〉 ストレッチ体操を佐溝さん指導により解説交えながら行った後、左手路を行くぐり登山を開始する。第 2 東名工事現場の見える鶯峠で一息入れ、淡々とした野猿坂を過ぎ林道と交差、ここより岩の多い「馬の背岩」を時には手を使いながらの登りとなる。28 丁目の展望台で待望？の休憩をとる。

眼下に三河湾まで見える景色は気持がよい。ほどなく左手から吹き上げる強い風の風越峠を過ぎ石の鳥居横の水場では備付けの柄杓で喉を潤す。この水は「なんとなくまろやか」に感ずるやさしい水だ。再び林道に出て少し歩き登山道に入る。お清水舎でもそのまま通り過ごす訳に行かず一口飲んでゆく。此処からは階段道のジグザグの登りが続き、昔は楽に登った本宮山も今では手ごわい登りの山だと体力の衰えを話し有っている声も聞こえてくる。そんな上りの途中、なんと上から降りてくる塚本さんに会う。塚本さん曰く「いいペースで登ってくるジャン」こう言われると悪い気はしない。足も軽くなる。途中の荒羽〃気神社で小休止する。此の神社は「健歩健脚の守護神」と謳われているので奥宮は近かいが此処で休憩とする。砥鹿神社奥宮前で記念写真を撮る。電波塔の乱立する本宮山頂上は味気ない。風が有るので昼食場所の選定に迷ったが下見の末、山頂駐車場隣の自然公園に決める。昼食後に女性陣 3 名の美味しい味付けの餅入りぜんざいを頂き、青木さん差入れのワインを口に運び、最後はコーヒーで締めくくる。下りは車の塚本、青木、青柳の 3 名を除いた 13 名で下る。下りでは「山姥の足跡に載せると足が丈夫に成る」と地元の岩崎さんの勧めで皆、足跡に右・左・右と三歩合せて行く。登り気が付かなかったヤマザクラも結構見通せ、所々のツツジと併せ春を感じる山行であった。下山後隣の「本宮の湯」で汗を流しさっぱりして刈谷に帰る。

〈リーダー所見〉三河富士の名に恥じない標高差 800mの山行を天候にも恵まれたことも有りますが無事出来た事皆さんの協力のおかげと感謝しています。今回ストック無しチャレンジの白井さん、残雪山行予行の浜島さん、今度こそ完登の青柳さんそして最高齢の青木さんご苦労様でした。SL 塚本さんの車を置いてからの出迎え登行有難うございました。

景観を壊す電波塔のある山頂

確認（ﾘｰﾀﾞｰ）
福
14/04/08
井

作成（報告者）
福
14/04/08
井